

鮮魚列車とは？

伊勢志摩魚行商組合連合会の貸切列車で、伊勢志摩で水揚げされた新鮮な魚介類を大阪へゆき送る行商人向けの列車です。

日曜・祝日を除く毎朝宇治山田を发车し、主要駅に停車しながら大阪上本町に到着します。夕方また大阪上本町から松阪に帰ります。

貸切列車に なったわけ

昔は一般の列車に魚介類を入れた竹箱を積みこんでいましたが、他の乗客から「魚のにおいがくさい」と床が水びたしになるなどといった苦情があったので、昭和三十八年から鮮魚列車として専用貨切列車とされました。

松阪駅での様子



6時頃 市場から荷物が届き、ホームに運ばれ、それぞれの場所に積まれていく。



6時半頃 列車到着 すばやく車内に荷物を運び入れる

車掌さんの話

- 昔は今とちがい車内を歩けないほど荷物や人がいっぱいだったそうです
- 車庫を出る時から車内の冷ぼうの温度を一番低くしているそうです
- 魚のにおいはなかなかとれないそうです



大阪上本町駅での様子



8時55分頃 列車の到着を待つ人達(10人ぐらい)



8時57分 列車到着。すばやく荷物を台車へ



せん用の出口へ向かう



外で待てる車に荷物を積み、それぞれの場所へ行く

2013年8月 発行者 川合 祥朗



話を聞かせてくれたおじさんと

鮮魚列車の5ナイ!!

1. 車内にフリカワがナイ
2. 車内に広告がナイ
3. 時刻表にのってナイ
4. 一般の人は乗れナイ
5. 車体横の行き先表示板がナイ

「もう少し早く着くといいな...」
 大阪に9時頃に着き、それから店運の魚をさばっている、10時の開店まで終わってしまうので、できればもう少し早い時間に着きたいそうです。

・ 少々滞の心配がなく、決まった時間に届くので便利である
 ・ 安全である
 ・ 一度にたくさん荷物をと人を運べるのでかさやうにやさしい
 ・ 列車の冷ぼう温度が低く設定されているので魚などがいたみにくい
 ・ 上本町駅ではせん用の出入口を使うので、すばやく車へ荷物を積み込むことができる
 ・ 一般のお客さんは乗れないのでよかれやにないでめいわくをかけない
 ・ 着くまでの約二時間半の間新聞を読んだり、おしゃべりすることができたりする

ココが イイ!!
 鮮魚列車の

また魚屋のおじさんの体がギツギツとおじさんの魚を待っていてくれる人がいる限り、続けていきたいが、がんばらなくていい、熱意のある言葉を聞いて、この電車がかつと長いことつづいてほしいと思ってきました。

調べた感想
 電車は人を運ぶだけでなく、ぼくたちが食べる魚も運んでくれていること、かたがかり、電車は本当にぼくたちの生活を支えている乗り物だと感じました。

・ 高れい化や後をつぐ人がいなくなった
 ・ 不況や商店街はたれのため、店を閉める人が多くなった
もっと利用してほしい!!
(ぼくの考え)
 ・ 今は魚屋さんしか利用できないが、野菜や果物や肉や米をあつかう人も利用できるようにする
 ・ たく配便の荷物やゆう便物も運ぶようにする

鮮魚列車の 今...
 最せい期には百二十人ぐらゐの利用があつたが、げんざいは四十五人へつている。(理由)